安土桃山時代

名前

問1　安土桃山時代、織田信長や豊臣秀吉に仕え、豪華な文化が栄えるなかで、無駄を徹底的に省いた質素で静かな美しさを重んじる「わび茶」を大成させた人物は誰ですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）

1. 世阿弥
2. 雪舟
3. 狩野永徳
4. 千利休

問2　桃山文化において、城郭の内部に金箔や鮮やかな色彩を多用した屏風画が配置された理由や背景として、当時の社会状況をふまえて説明したものとして適切なものを一つ選びなさい。（2017年 奈良県公立入試 類似）

1. 戦国時代から続く争乱を鎮めるため、仏教の慈悲の心を静かに表現しようとしたから
2. 天下統一を進める有力な武将たちが、自らの強大な権力や富を誇示しようとしたから
3. 幕府が贅沢を禁止する法令を出したため、限られた一部の商人たちの間だけで密かに流行したから
4. 南蛮貿易によって西洋の油絵の技法が伝わり、日本独自の伝統的な技法が完全に失われたから

問3　14世紀頃からイタリアを中心に西ヨーロッパ各地へ広がった、古代ギリシャやローマの文化を復興させようとする芸術や学問上の新しい動きを何と呼びますか。（2022年 山口県公立入試 類似）

1. 宗教改革
2. 啓蒙思想
3. 十字軍
4. ルネサンス

問4　日本の土地制度の歴史において、奈良時代の「墾田永年私財法」による私有化の容認や、安土桃山時代の「太閤検地」による耕作権の確立に共通する目的や性質として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 秋田県公立入試 類似）

1. 年貢の負担をなくすことで、農民が自由に他の地域へ移動できるようにすること
2. 武士が農村に住むことを奨励し、土地の管理をすべて現地の武士に任せること
3. すべての土地を国の所有に戻し、農民が土地を自由に売買することを厳しく制限すること
4. 土地に対する農民などの権利や所有関係を明確にし、生産意欲を高めたり税を確実に徴収したりすること

問5　1582年の本能寺の変以降、豊臣秀吉が全国を統一するまでの歴史的な流れを整理した記録において、1585年以降の出来事の説明として正しいものはどれですか。（2024年 島根県公立入試 類似）

1. 1585年に関白に就任した後、天皇の権威を背景に四国や九州、そして関東の北条氏を平定し、1590年に奥州の大名までを従わせて統一を完成させた。
2. 1582年の直後に関白となり、まず関東の諸大名を服従させてから、1585年に関西地方の平定を開始し、1590年に九州を最後に統一した。
3. 1585年に太政大臣となり、京都に聚楽第を築いて天皇を招いた後、翌年の1586年には既に東北地方の奥州までを含む全国統一を完了させていた。
4. 1585年に征夷大将軍に就任し、その直後に北条氏を滅ぼして関東を制圧した勢いで、1590年までに四国と九州の全域を占領した。

問6　16世紀、スペインの援助を受け、南アメリカ大陸の南端を回って西へ進み、史上初めて世界一周を成し遂げた船隊を率いた人物は誰ですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. コロンブス
2. アメリゴ・ヴェスプッチ
3. マゼラン
4. バスコ・ダ・ガマ

問7　太閤検地によって「一地一作人の原則」が確立されたことで、それまで複雑に入り組んでいた社会的な権利関係はどのように変化しましたか。（2023年 宮城県公立入試 類似）

1. 各地の戦国大名が独自に税率を決める権利が廃止された
2. 農民に土地の永代売買を認める権利が与えられた
3. 武士が農村に住み、直接土地を支配する権利が強まった
4. 荘園領主などが持っていた重層的な権利が否定された

問8　太閤検地によって確立された、当時の社会の仕組みやその目的についての説明として正しいものを次の中から選びなさい。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. 農民が自由に土地を売買したり、別の土地へ移住したりすることを法律で全面的に禁止し、石高に影響が出ないよう農民を厳しく土地に縛り付けた。
2. 石高の基準を、実際の収穫量ではなく、農民が所有する家財や牛馬の数に基づいて計算することで、農業以外の副収入も課税対象とした。
3. 全国の度量衡（ものさしや枡の単位）を統一するのではなく、各地の慣習に合わせた石高を算出させることで、地方大名が自律的に領地を経営することを奨励した。
4. 一筆の土地につき一人の耕作人を検地帳に登録する「一地一作人の原則」により土地の権利を確定させ、荘園領主などの中間搾取を排除して年貢を確実に徴収することを目指した。

問9　豊臣秀吉が全国統一を進める中で実施した太閤検地では、測量の基準だけでなく、収穫量を測るための道具についても統一が図られました。このとき、全国共通の基準として採用された「枡（ます）」の名称と、検地によって決定された収穫量の単位の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）

1. 京枡を用い、家族の人数に応じて「口分田」を定めた。
2. 江戸枡を用い、土地の面積に応じて「地価」を定めた。
3. 宣教師から伝わった計量器を用い、海外貿易の利益に応じて「運上金」を定めた。
4. 京枡を用い、土地の質に応じて「石高」を定めた。

問10　織田信長の後を継いで全国を統一した豊臣秀吉は、全国の田畑の広さや収穫量を調査する「太閤検地」を実施しました。この政策において、全国一律に生産量を測定するために行われた工夫とその目的について、適切な説明はどれですか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）

1. 土地の面積にかかわらず一律の税額を定め、農民が自発的に開墾を行うよう促すことで、農業生産の飛躍的な向上を目指した。
2. 寺院や神社が所有していた「不入の権」を正式に認め、調査の対象外とすることで、宗教勢力と連携して社会の安定を図った。
3. 各地の有力な戦国大名が独自に使用していた基準をそのまま認め、各地域の特産品を優先的に納めさせることで、経済の多様性を保護した。
4. 全国でバラバラだった度量衡（ものさしや枡の単位）を統一し、一つの土地に対して一人の耕作者を登録することで、年貢の徴収を確実にした。

問11　南蛮貿易が行われていた当時の東アジアにおける物流の仕組みについて、ヨーロッパの商人が仲介した「日本からの輸出」と「中国（明）からの輸入」の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 秋田県公立入試 類似）

1. 日本から「米」を輸出し、中国産の「仏像」を輸入した。
2. 日本から「銀」を輸出し、中国産の「生糸」を輸入した。
3. 日本から「綿織物」を輸出し、中国産の「香辛料」を輸入した。
4. 日本から「茶」を輸出し、中国産の「鉄砲」を輸入した。

問12　16世紀半ば、ザビエルらイエズス会の宣教師が日本へ渡来し、キリスト教の布教を熱心に行った歴史的な背景を説明したものとして、最も適切な内容を選択してください。（2017年 山口県公立入試 類似）

1. ヨーロッパで宗教改革が起こり、勢力を失いつつあったカトリック教会が、海外に新たな信者を獲得しようとした。
2. 大航海時代の進展に伴い、キリスト教の布教よりも、東インド会社を通じた香辛料貿易の独占を唯一の目的として来日した。
3. 織田信長が仏教勢力を抑えるために、ヨーロッパのカトリック教会に対して宣教師の派遣を公式に要請した。
4. ルターやカルヴァンが提唱したプロテスタントの教えを、アジアの国々に広めることで教皇の権威を高めようとした。